

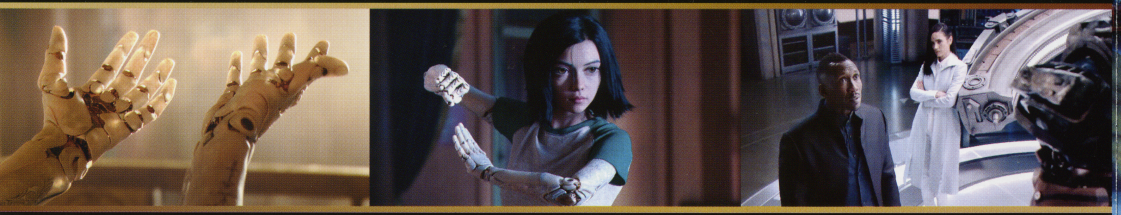
「さすがキャメロン、期待値は『アバター』超え!」
"究極の映像体験"を小島秀夫(ゲームクリエイター)がレポート!

リアルタイムで「銃夢」を読んだ世代で、なおかつキャメロン監督の大ファンですから、映画化の話が出た時から期待していました。フッテージを観てまず驚いたのが、あくびをしながら目覚めたり、オレンジをおいしそうに食べたりするアリータの描写。どちらもデジタル的な表現として難しいだけでなく、感情移入できる"人"として自然な姿を描く脚本は、さすがキャメロンだと思いました。鏡に映った自分に触れようとして指先が鏡にコツッと当たる描写なんかは、ちゃんとト書きにあるんでしょうね。実は最初に予告編を見た時、アリータの大きな目に少し違和感があったんです。でも、目覚めて食事をする一連の流れを見て印象が変わりました。『アバター』でも初めてナヴィを見た時は「なんだ、この真っ青なやつは」と思いましたが、映画を観た後には「ごめんなさい」しましたし(笑)。アニメや漫画ではなく、実写でこのデザインを成功させたら新しい流れが生まれるはずです。

映像のクオリティも高い。アリータの髪や衣服の質感、水中シーンのシミュレーションなど大変なんです。そもそもキャメロンは、新しいテクノロジーを次々に導入してきた人。CGやパフォーマンスキャプチャーなど、機材込みで新技術を作りだすので、僕らは彼の作った道を通っているだけなんです。キャメロンは映像もすごいのですが、物語の構成もうまい。最近はバトルだらけのラッシュ映像を目にしますが、本作では人物描写やドラマもしっかり押さえてくれているようなので楽しみですね。個人的な期待値は『アバター』続編より高まりました!



小島秀夫
≫ゲームクリエイター
1963年生まれ、東京都出身。87年に初めて手掛けた「メタルギア」はその後シリーズ化され、世界的人気を獲得する。現在、新作PlayStation4用ゲーム「DEATH STRANDING」を制作中。



製作・脚本:ジェームズ・キャメロン　監督:ロバート・ロドリゲス　原作:「銃夢(ガンム)」木城ゆきと
出演:ローサ・サラザール　クリストフ・ヴァルツ　ジェニファー・コネリー　マハーシャラ・アリ(ほか)

2019年／アメリカ映画／配給:20世紀フォックス映画
©2018 Twentieth Century Fox Film Corporation

/AlitaMovieJP　@AlitaMovieJP　#アリータ降臨　検索

2月22日(金)ロードショー

インターネットで座席指定ができる前売券
ムビチケ 絶賛発売中!
ムビチケHPからオンラインで購入
劇場でムビチケカードを購入
2種類の絵柄から選べる!
※数量限定。販売は一部劇場除く

映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098
映画館に行こう!実行委員会 違法対策室



映画史に燦然と輝く『アバター』『タイタニック』で、全世界歴代興行収入1、2位を独占する巨匠ジェームズ・キャメロン。
彼が惚れ込んだ日本の伝説的SFコミック「銃夢（ガンム）」の映画化『アリータ：バトル・エンジェル』が超進化を遂げて実現する。
主人公は、過去の記憶を失ったサイボーグの少女・アリータ。
サイバー医師のイドに拾われ、新しい身体（ドールボディ）でよみがえった彼女は、
娘のように見守られながらアイアンシティ（クズ鉄町）の人々と心を通わせ成長していく。
しかし彼女は、300年前の大戦で失われたテクノロジーで創られた"最強兵器"だったという、
逃れられない運命と封印されていたパワーに覚醒（めざ）めてしまう。
空中都市ザレムとアイアンシティ。
二つに分断された世界の秩序をぶっ壊すアリータに、時代が、世界が、恋に落ちる――。

ジェームズ・キャメロンを虜にした心を持ったサイボーグの少女・アリータ
最強の戦士が分断された世界をぶっ壊す"超進化"スペクタクル・アドベンチャー！

空中都市ザレムと荒廃したアイアンシティ
二つに分断された未来都市で
下層の人々は空を見上げて暮らしている



瓦礫から生体反応を示すサイボーグを拾った
サイバー医師のイドは
亡くなった娘の身体（ドールボディ）を与えアリータと名付ける



感情に目覚めていくサイボーグの少女アリータに
J・キャメロンは当時13歳だった
自身の娘を重ねて脚本を執筆



脳髄を刺激する"究極の映像体験"
"モーターボール"シーンの
超進化アクションはまばたき厳禁！

